ぜんせき
THE ZENSEKI

第7802号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）

4月2日（月曜日）2018年（平成30年）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

今冬灯油商戦を総括

需要 利益 寒波効果も地域差〝大〟

東日本

今冬における東日本の灯油商戦は昨年10月早々に寒波が到来し、平年より早い幕開けとなり、東北や関東では順調に販売量を増やした一方、北海道や東京ではシーズン当初に期待したほどには売れなかったようだ。利幅については、仕切り値上げ分の転嫁がスムーズにできた地域で大幅な改善がみられたものの、ホームセンターの影響が大きい地域は依然として薄利を強いられる状況が続いた。

北海道は10月に早くも寒波が到来。灯油商戦は例年より早い幕開けを迎え、「販売量も順調に伸びるだろう」と道内業者の期待は大きかったものの、シーズン終盤となって振り返ってみると「それほどでもなかった」と気落ちした声で話す業者が少なくない。本格需要期に入った12月以降は平年より寒い日が多かったため、札幌では暖房用灯油の販売量は好調だった一方、少雪が災いしてロードヒーティング用の需要に大きな打撃を受けた。仕切り値上げ分はスムーズに転嫁でき、収益は大幅に改善したが、全道平均で㌔90円台に乗った2月以降は消費者の節約ムードが強まり、販売量は伸びなかった模様。

東北でも10月に一気に寒さが訪れ、例年より早く灯油注文が入り始めた。シーズン終盤は伸び悩んだが、売上げを増やしたSSが多かった。年末には大雪となった地域が多く、前半に売上げが伸びた。シーズン平均では降雪量が特に多かった訳ではないが、「年明けも寒い日が続き、販売量が伸びた」（山形県のSS）。また「寒い冬は価格も崩れない」、「粗利は平均㌔20円は取れた」と話すSSも。秋田県南では配達価格が90円を超える時期が長く続いた。一方、ホームセンターの安売り時期が長かった地域のSSは利幅が取れなかったといい、「売上げは伸びたが、くたびれ貧乏に終わった」（福島県のSS）との声も聞かれた。

関東の灯油商戦は例年以上に盛り上がったようだ。北関東でも10月に一気に冷え込みが続いたことで、当初から需要が伸張。18㌔1400円前後で始まったが、元売の連続仕切り値上げを受け、断続的に販売価格も値上がりし、年始には1600円以上がセルフSSの一般価格となったが、それでも「粗利益は減少している」と感じる業者は多く、「売れても利益は薄皮がはがれる状況」との声も聞かれた。シーズンを通じては「前年比3割増」（新潟県のSS）、「6%増」（山梨県のSS）など増販は確実。

一方、南関東でも「例年になく灯油は売れた」と感じる業者が多かった。ただ、2月中旬以降、配送不安がみられ、「2週間も前にオーダーしなければ灯油を持ってきてくれなかった」（千葉県のSS）という。また、東京では1月下旬～2月上旬にかけて寒波が続いたが、3月は暖かな日が多かった。多摩エリアではローリー配送のニーズも少なくないが、ユーザーの中心層は戸建ての高齢者世帯で、燃料転換を含めて灯油離れが続いている構造的な問題も重なり、「シーズン全体でなんとか横ばい」「残念ながら減販に歯止めがかからなかった」などの声が聞かれた。一方、新たな顧客層の大幅な開拓は見込みが薄いことから、今冬も適正マージンを確保する意識は総じて強かった。こうした中、『満タン運動』や灯油の経済性を告知し、安全・安心をアピールするSSも見られた。（中～

西日本は2面に続く

ホースを延ばして給油に向かうスタッフ。配達価格も良好だった（秋田県南地方）

灯油の利点などをアピールするSSも（東京・多摩市のSSセルフルーム内）

論説

新年度が開幕、収益向上へ

全国石油協会の2017年度版「石油製品販売業経営実態調査」報告書がまとまった。16年度（16年4月～17年3月）決算期の業況を反映しており、運営SS数1ヵ所が72%、2～3ヵ所が19%と3SS以下が大半。営業利益ベースの赤字比率は35%で、運営SS数が少ないほど赤字の業者が多かった。

1SSあたり平均月間店頭販売量はガソリンが87㌔㍑で、過去5年平均と比べると4・7%増えたが、灯油は6・3%減の18㌔㍑、軽油も2・5%減の28㌔㍑だった。SS運営規模別のガソリン販売量は、1ヵ所＝51㌔㍑、2～3SS＝80㌔㍑、4～5SS＝99㌔㍑、6～9SS＝128㌔㍑、10SS以上＝145㌔㍑。また、フルサービスの52㌔㍑に対しセルフは178㌔㍑と3・4倍の格差があった。

一方、売上高の品目別構成比をみると「1SS店頭平均」「1企業あたり」でそれぞれガソリン＝64・3%、54・2%、灯油＝7・5%、10・4%、軽油＝17・1%、22・7%で、3油種計＝89%、87%。そのほかA重油＝1・4%、5・4%、自動車潤滑油＝0・9%、0・8%、油外＝8・7%、6・4%。ガソリンが主力の商売を続けながら、「油外」強化を進めている傾向が読み取れる。

同調査では異業種進出・転換事業計画についても聞いており、「あり」が2割弱みられた。すでに事業化済みというケースも多いだろう。計画のある最有力事業は「車販」「不動産賃貸・管理」「自動車整備」「レンタカー」「LPG販売」がトップ5。その理由では、SS事業との関連性の良さが突出している。来店頻度、好立地、地域密着―等々。石油需要が減っても、SSの事業基盤を活かす創意工夫の余地は大きい。人やクルマの〝高齢化〟に対するサービスニーズは、むしろ高まる方向だ。

1SS平均従業員数は、店主も含めてセルフ6・2人、フル5・6人。人材力を一層高め、現有スタッフが働き甲斐を感じながら社会の期待に応えていけるようなSSとそのネットワークを維持し、地域インフラとしての確固たる存在意義を築きたい。新年度が幕開けした。未来を切り拓く若者たちも仲間入りする。厳しさが続いた16年度決算を経た17年度は、需給バランス改善で経営が良化した組合員も増えそうだ。持続可能な石油販売業を追求するために、18年度の業績がより上向くようなスタートを切ろう。

出光

18～20年度中期経営計画「SS網の価値高める」

出光興産は3月28日、2018～20年度の中期経営計画を公表した。地球温暖化・環境問題、資源の枯渇など、化石燃料を主力事業とする会社として今後30～50年の間に企業の存在意義を問われる大きな経営環境変化が起きる可能性を視野に、30年度を大きな節目と位置付け計画を構築。30年度の営業利益を2500億円（17年度は2030億円）に引き上げる。このうち中核3事業（燃料油・石油開発・石炭）の構成割合は50%以下（同67%）の1200億円まで依存度を下げる一方、有機EL材料など成長分野、新規事業を40%以上（同17%）の1千億円規模に伸ばし、構造転換を加速する。

20年度目標は営業利益2030億円、純利益1300億円。事業戦略として「SS網の価値を高め、地域の活力につながる新サービス開発」「燃料油販売の海外比率を50%規模に拡大」などを挙げた。営業利益を横ばいとしたことについて、4月1日付で社長に就く木藤俊一副社長は「17年度が業界再編や原油価格の上昇で過去にない高収益」で、目標レベルとしては高いとした。昭和シェル石油との経営統合はこう着しているが、仮に統合した場合、20年度の営業利益は3千億円を見込む。

セグメント別の営業利益は、17年度に710億円だった石油事業を20年度に810億円まで上げる。内需減とマージン縮小による減益分110億円を昭シェルとの提携効果（150億円）や潤滑油などによる増益（60億円）で補う。また、20年度までに潤滑油の海外拠点整備やEV向け蓄電池素材開発などに1600億円、SSネットワーク維持などに1千億円を投資。その一方、3年間累計でフリーキャッシュフロー1800億円を見込み、株主還元や財務体質の改善に向ける。3月に稼働したベトナムのニソン製油所は、20年度から収益貢献する見通しだ。

木藤副社長は昭シェルとの経営統合について「進める方針になんらの揺らぎもない」と強調。「ただ大株主である創業家の賛同が得られず、統合時期は未定」と付け加えた。先細りするガソリン内需への対応については、丹生谷晋常務取締役が「EV化が進む前提で、（全国に約3500ある）系列SSの業態転換などを検討・準備しないといけない」と危機感をにじませた。

20年度までの経営計画を説明する木藤副社長㊧と丹生谷常務

週仕切り指標のコスト変動と推計値（＊原油＝価格適用期間のFOB平均値）　（円／L）

適用期間	原油	ガソリン			灯油			軽油			A重油
土～金曜		スポット	系列卸	TOCOM	スポット	系列卸	TOCOM	スポット	系列卸	TOCOM	スポット
3／2週	0.33	0.1	1.0	▲1.0	▲0.2	1.0	▲0.9	▲0.0	1.0	0.0	▲0.1
3週	▲1.16	▲0.4	0.0	▲0.5	▲0.9	0.0	▲0.5	▲0.0	0.0	0.0	0.0
4週	0.35	▲0.6	▲1.0	1.2	▲1.1	▲1.0	0.5	▲0.5	▲1.0	0.0	▲0.6
5週	1.44	0.4	0.0	3.0	▲0.6	0.0	▲0.6	▲0.2	0.0	▲0.6	▲0.4
前週実勢値	43.24	111.1	110.3	112.7	61.3	60.5	59.8	58.5	57.5	61.4	56.5
前週標準仕切り推計	---	---	113.3	---	---	63.5	---	---	60.5	---	---
4／1週	0.92	1.7	2.0	0.2	0.8	1.0	0.4	1.3	2.0	▲0.4	1.0
当週実勢値予測	44.16	112.8	112.3	112.9	62.1	61.5	60.2	59.8	59.5	61.0	57.6
最近値	44.25	116.5	112.3	112.9	62.7	61.5	60.2	60.7	59.5	61.0	58.7

原油コスト0.9円高

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは前週比㌔0・9円高、3週連続の値上がりで累計2・7円上昇した。サウジアラビアが協調減産の延長を示唆したことや、今後イランなどに供給不安感があり上昇要因となっている。直近3月30日の東商取プラッツ・ドバイ原油は㌬建てで前日比0・74㌬高の㌭66・34㌬、円建ては0・2円高の㌔44・3円。

国内ガソリン陸上スポットは上昇の様相。大手元売4社が系列仕切りを2円値上げした影響に加え、4月に月替わりしたことで卸価格がリセットされた。30日のTOCOMウインドウ・ガソリン陸上は前日比0・5円安の112・3円。

◇　◇

特約店筋によると、コスモは30日から週決め仕切りを前週比でガソリンと軽油2円、灯油1円の各値上げ。

業績予想修正で実質益400億円減

JXTG通期

JXTGホールディングスは2017年度通期連結業績予想を修正し、2月9日公表比で、売上高が500億円増の10兆2500億円、営業利益が横ばいの4800億円、当期利益が350億円増の3350億円とした。在庫影響を除いた営業利益は400億円減の3700億円で、うちエネルギー事業は450億円増の3千億円。

白木沢コスモM常務6月末退任

コスモ石油マーケティングは3月30日、白木沢隆広常務取締役が6月30日付で退任する役員異動を行うと発表した。同氏は7月1日付でキタセキ取締役副社長に就任予定。4月1日付で峯明彦取締役関西支店長が常務取締役に昇任（既報）、社長補佐を担当する。

宮城・佐藤氏の理事長5選内定

【仙台】宮城石商・協は3月28日に理事・監事会を開き、任期満了に伴う役員改選で理事長に佐藤義信氏（丸山社長・JXTG、昭シェル系＝写真）を推薦することを決め、5選が内定した。5月7日の理事会で副理事長などの役員候補とともに正式に推薦し、同月21日の総代会に諮り正式決定する。

富山理事長に島氏3選内定

【富山】富山石商・協の常任委員会は、任期満了に伴う役員改選で次期理事長に島竜彦理事長（島石油社長・JXTG系＝写真）の推薦を決め、3月29日の役員会に報告、了承され3期目就任が内定した。ほかの役員候補は支部推薦などの手続きを経て4月26日の役員会で決まり、新体制は5月17日の通常総会で正式決定する。

東京ガソリン卸（3月26日時点）

系列115.5円・業転113.3円

格差再び縮小傾向

東京・仕入価格調査結果　（消費税別：円／㌔）

		最高	最低	平均	最多価格帯
系列	ハイオク	129.5	123.8	125.5	124
	レギュラー	119.5	113.8	115.5	114
	軽油	99.4	92.6	95.1	94
	灯油	71.0	61.5	65.7	65
流通卸	ハイオク	124.8	121.5	123.2	－
	レギュラー	114.8	111.5	113.3	－
	軽油	93.4	91.6	92.6	－
	灯油	65.3	63.0	64.2	－

東京石商政策委員会（大家章嘉委員長）が3月26日現在で集計した仕入価格調査結果（消費税別、回答数21件）によると、月次の「2月分」比でレギュラーの系列平均は2・1円安の115・5円、流通卸（業転）平均は1・1円安の113・3円で、現時点での格差は前月の3・2円から2・2円に縮小している。系列の最多価格帯は3円安の114円。消費税込み換算では、系列平均が2・3円安の124・7円、業転平均が1・2円安の122・4円となる。

軽油の系列平均は1・2円安の95・1円、業転平均は1・0円安の92・6円で、格差は2・5円。系列の最多価格帯は1円安の94円。

灯油の系列平均は1・9円安の65・7円、業転平均は1・8円安の64・2円で、格差は1・5円。系列の最多価格帯は1円安の65円。

ポンプあいら・えど

▼「寒冷地では普及しない」「国民性が違う」「地方都市では需要が見合わない」「利用は若者中心」――。この4月でセルフ解禁から20年が経過した。解禁当時、様々な予測が交わされたが、結果的にはどれも当たったとはいえないようだ▼いまは昔の話だが、解禁からしばらく、セルフ化すれば300㌔や500㌔は確保でき、これが勝ち残りの必須条件のような言説がまかり通っていた。乗り遅れまいと決断。大型化、セルフ化に踏み切ったものの、競争は激化。老朽化対応など追加投資も迫られるようになり、かさむコストに苦しむばかりが大方の実感ではないか▼2017年9月末現在でセルフ数は9911ヵ所。セルフ化率も31・5%に達し、SS3軒に1軒、都市部ではほぼ4割がセルフという状況だ。ただ、セルフ間の競争も激化。出店総数1万1305ヵ所のうち、1394ヵ所が撤退しており、必ずしもセルフだから残れる訳ではないことを裏付ける▼ガソリン需要のピークは04年度。「セルフ神話」が浸透し、セルフ化が急進し始めた時には、すでに需要はピークアウトしていたことになる。需要が縮む中での熾烈な薄利多売競争。当時、この状況を俯瞰できていたなら、どうしただろう。セルフからフルに戻したケースもあるという。自店と顧客を冷静に見つめ直すことが大切だ。

きょうの紙面
2面　中・西日本今冬灯油商戦
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、CIF価格、卸価格、石油統計速報
3面　東北版・岩手・県労働局と契約／関東版・山梨・吉字屋G450周年
4面　2018年度乙4試験日程／月間ぜんせき

TATSUNO
TATSUNO Challenge
100年の時を刻む歴史と経験、技術。そして次世代ニーズを融合し、未来を創ります。
一歩先行く「環境づくり」にチャレンジ。
タツノはこれからも、環境保全、給油の安全性、経済性への貢献を通じて、
より良きパートナーとなるために、さらなる努力を重ねてまいります。

株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　TEL 050-9000-0567　http://www.tatsuno.co.jp/

長引く寒波、需要押し上げ

中・西日本 今冬灯油商戦

灯油を求めマイカーで来店するユーザー（福井市内で）

価格も安定し増益
配送面の課題表出

中日本～西日本における今冬の灯油商戦は、長引く寒波の影響などから終盤まで需要が順調に推移し、昨年度を上回る利益を確保した販売業者も目立った。一方で慢性的な人手不足によって、急増する配達の依頼に十分な対応ができなかったという課題も浮き彫りになった。また、福井豪雪などの教訓も踏まえ『満タン運動』の重要性が一層高まりそうだ。

燃料転換などで灯油需要の減退傾向が続いているが、今冬は11月以降、寒波で日本海側を中心に大雪に見舞われた地域も多かった。

中国からは「昨年に比べ10～20％程度販売量が伸びた」、中部でも「大健闘のシーズンだった」と振り返ったSSが目立つ。利益も「元売統合で価格が比較的安定し、増益につながった」、「系列回帰が進んでいるのか、安売り競争が少なかった印象。利益は昨年より良かった」などと好調ぶりが伝えられている。

灯油のみの購入でSSに来店するユーザーも多く、九州では山間地だけでなく、都市部の郊外セルフSSも売れ行きが好調だった。配達も急増したが、各地で「需要があっても人手が足りず、配達のシフトが組めない」、「人手不足で思うようにできなかったのが残念」などの声が聞かれ、労働力確保が課題として浮かび上がった。

次期商戦に向けては「需要復活の手応えがあった。今後も灯油に力を入れていく」、「灯油は災害面で強いので平時からの使用をもっとアピールしたい」ないどの期待感が高まっている。

灯油まつりアンケート 9割が「効果あり」 新潟

【新潟】新潟石商広報委員会（土田裕委員長）・広報分科会（山田隆一委員長）は3月26日、新潟市内で会合を開き（写真）、10月から2ヵ月間にわたり実施した「灯油まつり2017」の参加事業所アンケート結果をまとめた。

消費者に灯油が暖房用燃料として優れていることをアピールすることなどを目的にした灯油まつりの参加事業所からは、「効果があった」との回答が89％を占め、土田委員長は「成果が出た」と結果を総括した。

アンケート結果では「おおいに効果があった」が26％、「少しあった」が63％で合計9割が灯油まつりへ参加したことに意義を感じている。また、顧客の反応については「良かった」が59％と過半に達し、内容としては「恒例行事として楽しみになっている」、「会話は「参加する」が83％に達し、今年度の灯油まつりで応募総数が過去最大になったことも併せて次回開催に弾みをつける結果となった。

同委員会は開催時期や賞品などについての機会が増えたなどの意見が多かった。

新年度の実施について工夫を重ね、次年度の灯油まつりに備えることを確認した。

災害時のSS業務円滑化へ
カードシステム検討も 東京

東京石商・協（矢島幹也理事長）は3月27日、立川市内で定例理事会を開き、今年度に新設したカードシステム検討委員会（吉村美知明委員長）が今般取りまとめた「官公需契約等に関する調査報告書」の概要を紹介し、新年度から「災害時対応の円滑化につながるシステムなどの検討を行う」方針を確認した。第4方面で移動理事会を開いたのは5年ぶり。

発券店値付けカード問題の改善に改めて期待を寄せた東京・理事会

報告書は官公需納入に関し、都の政策などでエネルギーの多様化や省エネ化が進められており、石油需要自体が縮小している中で「特に重大な問題は起きていない」と分析。

一方、東日本大震災で顕在化した災害時における優先供給などの現実的な運用体制について、「SS現場の混乱回避・軽減につながる専用カードによる給油、組合員SSの稼働状況確認や油種ごとの在庫量把握に資するシステムは効率性・信頼性を高めるために必要」と指摘したうえで、新年度の検討テーマと位置付けた。

また、発券店値付けカード問題委員会（大谷匡広委員長）は系列委員会（比毛新太郎委員長）と連携し、元売社長宛の改善要望書を関係支店長に手渡したことを報告（既報）。同カードに関する問題意識が全国的に顕在化し始めたことから、改めて強い改善意欲と期待感を示した。

冒頭あいさつで矢島理事長も「発券店値付けカードに対する意見が全国各地で聞かれるようになった。総じて、給油代行手数料の低さが問題視されている。元売が空前の利益と言われる一方で、我々の流通・販売業界はまだ不十分。諸課題に1つずつ地道に対応しながら、全石連とも手を携えて持続可能な業界づくりを進めたい」などと訴えた。

会合ではこのほか、インステップの酒部桂一郎主席講師が「タイヤ関連作業の事故と事業者リスク」、全石連の浦辻敏夫経営相談室長が「中小企業等経営強化法に基づく石油卸売・燃料小売業の指針」をテーマにそれぞれ説明した。

災害対応手引き活用を 神奈川

【横浜】神奈川石商・協（木所章理事長）は先ごろ開催した理事会で、官公需事業の強化などを盛り込んだ2018年度事業計画案・同予算案を承認した。

あいさつで木所理事長（写真）は、県内ガソリン市場の状況に触れ「業界における人手不足は深刻で、労務環境を良くする必要がある。従業員の給料を上げていく努力が求められており、そのためには燃料油粗利を改善していくしかない」とし、早急な市場適正化の必要性を訴えた。また、災害時対応についても「地震などに備え、SS店頭での行動や安全措置について取りまとめた災害時対応マニュアルを作成した。マニュアルは作ることが目的でなく、利用してもらうことが重要で、各SSで活用してほしい」と呼びかけた。

北海道
道内SS18％に自家発設置完了

【札幌】資源エネルギー庁石油流通課がこのほど発表した「住民拠点SS」の整備・指定状況によると、3月中旬までに自家発電機の配備が完了した「住民拠点SS」は全国で1346ヵ所に上った。

都道府県別でみると、北海道が236ヵ所で最も多く、全国の17・5％を占めている。

道内全SS数1831ヵ所（17年3月末現在）に占める「住民拠点SS」は約13％になったが、道内にはこのほかに緊急時の燃料供給拠点として「中核SS」が約60ヵ所、「小口燃料配送拠点」が約35ヵ所整備されており、これらに「住民拠点SS」を合わせると約3330ヵ所、全道の約18％に相当するSSに自家発電機が配置されたことになる。

なお、道内振興局別の「住民拠点SS」数は次の通り。

▽石狩＝7▽渡島＝13▽檜山＝14▽後志＝16▽空知＝29▽上川＝17▽留萌＝9▽宗谷＝7▽オホーツク＝37▽胆振＝19▽日高＝17▽十勝＝32▽釧路＝10▽根室＝9

「かけこみ110番」新小学生に周知 クリアファイル寄贈 茨城

110番クリアファイルを渡す布市委員長（右）と芝原教育長

【水戸】茨城石協社会貢献対策事業推進特別委員会（布市勝委員長）と茨城県教育委員会は3月28日、茨城県庁で新入学児童用『かけこみ110番クリアファイル』贈呈式を行い、布市委員長が県内全新小学1年生に約2万8千枚の『かけこみ110番クリアファイル』を贈呈したことを報告した。芝原宏一教育長は「通学時の小学生の安全に対するSSの貢献はありがたい」と、同石協の取り組みに謝意を表した。

布市委員長は「クリアファイル配布は活動を広く周知することを目的とし、今年度も県内全小学校の新1年生に、組合の支部などを通じ配布させていただいた。SSは児童の安全確保に取り組んでいる」と述べた。これを受けて芝原教育長は、「クリアファイルの配布に感謝申し上げる。SSが子どもたちの安全に貢献していただいていることは心強い。これからもよろしくお願いしたい」と同石協の取り組みを高く評価した。

全石連人事

▽環境・安全対策グループチームリーダー兼業務グループチームリーダー（次長待遇）（業務グループチームリーダー、課長待遇）石井弘一▽広報事業・編集グループ近畿支局係長（広報事業・編集グループ近畿支局係長兼近畿支部事務局長）遠藤雅治▽環境・安全対策グループ係長（企画調査グループ主事補）安中優子▽企画調査グループチームリーダー兼総務グループチームリーダー兼全国石油政治連盟事務局長、次長待遇）中村行男▽企画調査グループ兼全国石油政治連盟事務局（企画調査グループ）富永仁美（4月1日付）

DATAコーナー

■石油先物市場・3／30
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／ＫＬ

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50ＫＬ）

16：30現在	前日比	限月
（前日出来高789枚）		ガソリン
59,130	Δ120	⑤限月
58,950	Δ180	⑥限月
58,800	Δ210	⑦限月
58,490	Δ140	⑧限月
58,130	Δ160	⑨限月
57,620	Δ160	⑩限月
（前日出来高384枚）		灯油
60,180	Δ240	⑤限月
59,700	Δ260	⑥限月
59,370	Δ310	⑦限月
58,930	Δ400	⑧限月
59,010	Δ280	⑨限月
59,580	Δ300	⑩限月
（前日出来高-枚）		軽油
61,000	0	⑤限月
60,700	▲100	⑥限月
60,500	▲100	⑦限月
60,300	▲100	⑧限月
60,100	▲100	⑨限月
59,900	▲100	⑩限月

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20ＫＬ）

16：30現在	前日比
（前日出来高1枚）	
59,500	0
58,990	Δ490
58,500	0
58,600	0
57,000	0
57,000	0
（前日出来高-枚）	
58,500	0
59,500	0
58,000	0
58,600	0
58,000	Δ2,000
59,300	0

原油指標

			前日比
国内指標	＄／Ｂ	65.36	(Δ0.15)
	￥／ＫＬ	44,085	(▲170)
ＷＴＩ	＄／Ｂ	64.94	(Δ0.56)
	￥／ＫＬ	43,805	(Δ110)

■原油・石油製品輸出入ＣＩＦ価格・2月（単位￥／㌔）

	原油	揮発油	灯油	軽油	重油
輸入	46.92	47.24	57.87	56.33	47.16
前月比	Δ1.24	▲0.14	▲1.19	▲3.89	Δ0.10
輸出	-	53.43	53.33	56.49	43.34
前月比	-	Δ0.45	Δ0.18	Δ2.21	Δ3.22

■石油統計速報・2月（単位：千ＫＬ、％）

	ガソリン	灯油	軽油	Ａ重油	7油種計
月初在庫	1,695	1,525	1,554	710	9,109
生産	4,116	1,901	3,034	1,282	13,952
前年比	96.6	102.6	89.8	98.9	93.6
輸入	66	507	46	-	3,135
前年比	109.4	225.5	201.1	-	110.3
販売	3,873	2,699	2,758	1,234	15,793
前年比	100.1	107.9	99.1	103.0	101.7
月末在庫	1,661	1,267	1,276	680	8,050
前年比	93.2	88.4	83.3	89.2	88.3

■県別ＳＳ卸価格調査・2月（単位：￥／Ｌ、↑値上げ、→同値、↓値下げ）

	レギュラー		軽油		灯油			レギュラー		軽油		灯油	
北海道	118.6	↓	65.0	↓	66.8	↓	滋賀	117.8	↓	64.3	↓	67.4	→
青森	118.2	↓	65.0	↓	67.5	↓	京都	118.1	↓	64.8	↓	67.5	↓
岩手	118.7	↓	65.4	↓	67.9	↑	奈良	117.9	↓	64.5	↓	67.1	↓
宮城	117.9	↓	64.5	↓	66.9	↓	大阪	117.4	↓	64.3	↓	66.7	↓
秋田	119.1	↓	65.9	↓	68.2	↓	兵庫	118.0	↓	64.5	↓	67.5	↑
山形	119.0	↓	65.6	↓	67.5	→	和歌山	118.3	↓	65.1	↓	67.7	↑
福島	118.6	↓	65.2	↓	67.9	→	鳥取	119.3	↓	65.6	↓	68.7	→
茨城	118.5	↓	65.8	↓	68.5	↑	島根	118.4	↓	65.7	↓	68.5	↑
栃木	118.6	↓	65.6	↓	67.9	→	岡山	117.2	↓	64.1	↓	67.1	↑
群馬	119.6	↓	66.4	↓	69.1	→	広島	118.0	↓	64.7	↓	67.7	→
埼玉	117.8	↓	64.5	↓	67.5	↓	山口	117.8	↓	64.3	↓	67.3	↑
千葉	117.6	↓	64.3	↓	66.9	↑	徳島	118.7	↓	65.5	↓	68.6	↓
東京	117.5	↓	64.3	↓	67.0	↓	香川	118.1	↓	64.7	↓	67.6	↓
神奈川	117.3	↓	64.1	↓	67.0	↓	愛媛	118.0	↓	64.5	↓	67.6	↑
新潟	119.0	↓	65.8	↓	68.5	↑	高知	118.1	↓	64.8	↓	67.9	→
長野	119.9	↓	66.9	→	69.4	→	福岡	118.7	↓	65.3	↓	68.2	↑
山梨	119.6	↓	66.3	↓	69.3	↑	佐賀	119.3	↓	65.5	↓	68.6	↓
静岡	118.8	↓	65.4	↓	68.5	↑	長崎	119.8	↓	66.9	↑	69.3	→
愛知	117.4	↓	63.9	↓	66.9	↓	熊本	118.5	↓	65.2	↓	68.4	↓
岐阜	118.2	↓	64.9	↓	67.6	↑	大分	118.2	↓	64.7	↓	67.7	→
三重	118.1	↓	64.5	↓	67.2	↓	宮崎	119.1	↓	65.8	↓	68.7	↑
富山	118.7	↓	65.9	→	68.5	↑	鹿児島	118.8	↓	66.0	↓	68.2	↓
石川	119.9	↓	66.6	↓	68.7	↓	沖縄	118.3	↓	69.6	↓	79.6	↑
福井	118.7	↓	66.1	↓	68.7	↓	全国	118.4	↓	65.1	↓	67.8	↓

SSにおける「支払い」に関するトラブル14事例

講師 佐藤 哲治 氏（ジャパンリスクソリューション主席コンサルタント）

連載 7

⑦法定費用をもらわずに車検を通したら「金がない」

法定費用不払いなら受注しない

店長は、支払いに関することは厳格に対応しなくてはいけません。「このお客様なら信用できる」として気楽にツケに応じたことで、多大な損害を被った事例です。

車検における法定費用は、自動車重量税と自賠責保険料、印紙代です。この費用はSSが代行徴収するだけであり、SSの収益にはなりません。車検を通すにはSSが一時立て替えをしなくてはならない訳で、これをもらえないことになれば大変です。

それに加えて継続検査費用があります。

ユーザーにとって車検は突然発生するものではないから、あらかじめ費用の準備をしておくべきものです。つまり法定費用くらいは車検受注時に払っていただくのは常識なのです。

このユーザーはカードも持っていなかったのですから、店長としては受注をしてはいけなかった訳です。こういうお客様は金がないという素振りは見せないどころか、いま現金がないことのもっともらしい理由を述べ、車検をすぐにやらなければならない理由を並べるといいます。

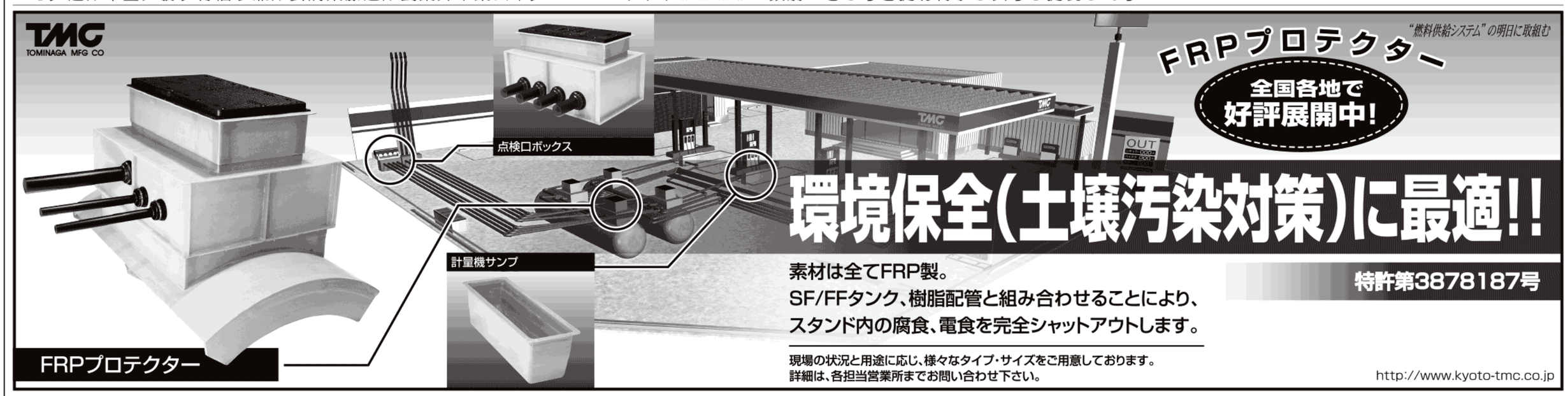
さて、この後処理が厄介なことになりました。

車両は代金と引き換えになることを通告してから引き取りに来ず、連絡も取れない状況が数ヵ月続きました。車両の時価額はほとんどないから、法的措置により車両の所有権をSSが取得しても売却益は見込めない。とはいえ、いつまでも放置できないので、法的手続きを経て15条抹消にしました。

SSの損害は法定費用、車検費用、長期間の車両保管費用、法的手続費用、長期間の管理人件費など莫大なものになったはずです。

結論は「法定費用を払わない」場合は受注してはいけない、そして「カードも使えない（持っていない）」場合は、代金回収のリスクがあることを認識すべきだということになります。

世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO



株式会社富永製作所 〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88 営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312
東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180
関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606
高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118
事業所・代理店／全国主要39都市

東北

東北支局（仙台市青葉区二日町12-9 宮城県石油会館）022（225）1967

県労働局と納入契約

県下全域の職安対象

岩手

官公需適格組合の岩手石協（宮澤啓祐理事長）がこのほど、岩手労働局との間で、すべての公共職業安定所（ハローワーク）に石油製品を供給する契約を結んだ。同石協が県下全域を供給対象に官公需契約を結んだのは初めて。

契約期間は今年4月から来年3月までの1年間で、供給油種はガソリン、灯油、A重油。価格は地域ごとの市況を考慮して4つの地方ブロックごとに設定し、市況の変化に応じて随時改定する。

これまでは、各ハローワークが個別に組合員SSなどと契約していたが、県労働局が全県の一本化に変更。同局が入札資格として県下全域に供給施設を保有する企業・組合を対象に一般競争入札を実施した結果、同石協以外に入札者はなかった。

組合活動活性化策では、7つの部会・委員会の現状を改革するため、部会見直しの検討に着手する。とりあえず5月に総務部会を開いて、協議をスタートさせる。役員改選では、選考委員を各支部長に委嘱し、理事・監事については各支部が4月10日までに推薦者を上げることにした。

宮澤理事長はあいさつで、「SS経営者は情報をしっかり捉えて（新しい動きに）遅れを取らないようにしなければならず、役員は一般組合員の手本になる気持ちで取り組みたい」と言及。官公需共同受注については「非常に良い仕組みであり、岩手はその良いモデル。全国からも評価をいただいている」と述べ、推進していく考えを表明した。

岩手　18年度事業計画案など協議

『満タン運動』継続実施

岩手石商・協（宮澤真）を開き、5月の総代会に提案する2018年度事業計画の骨子原案や任期満了に伴う役員改選の選任手続き方法を決めた。組合活動の活性化に向けて各部会組織の見直し協議を始めることも決めた。

事業計画原案では、17年度に導入の可否検討を始めた官公需カードシステムについて、検討作業をより具体的に進めていくことを柱の1つに掲げた。『満タン&灯油プラス1缶運動』も継続して力を入れていくことにした。

三陸沿岸道路

気仙沼へ延伸　観光客増に期待

東日本大震災の被災地復興を後押しするため国が整備している無料の高速道路・三陸沿岸道路の大谷海岸～気仙沼中央IC（いずれも気仙沼市）間が3月25日に開通した。高速道路網が気仙沼市に延伸したことで、観光客の増加などが期待される。

気仙沼中央IC付近で開かれた式典には地元住民ら約400人が出席。祝賀イベントでは高速道延伸の要望活動を行ってきた団体が木やり歌を披露し祝賀ムードを盛り上げた。

宮城県内の三陸沿岸道路は現在、仙台港北ICから歌津IC（南三陸町）までが開通している。気仙沼中央ICまでの未開通区間は歌津～卯名沢（気仙沼市）IC間と本吉（同市）～大谷海岸IC間が2018年度中に開通予定で、同年度中に卯名沢～本吉IC間（20年度開通予定）を除き開通する見通し。

国は仙台港北IC～八戸JCT間の359キロを復興道路と位置付け、20年度までの全線開通を目指している。

宮城・丸山観光

外国人観光客をおもてなし　東北新幹線白石蔵王駅前にホテル新設

外国人観光客の利用も目立つホテル

全石連副会長の佐藤義信宮城石商・協理事長が社長を務める丸山観光（宮城県白石市）が4月1日、東北新幹線白石蔵王駅前に「ベネシアンホテル白石蔵王」を全館オープンした。

耐震構造7階建て、全113室で、宿泊227人収容。欧米からの旅行客の利用を見込み、ダブル並みの幅1・6㍍のベッドを据えた。最大320人収容の宴会場や宮城県初出店のキーコーヒーのカフェ、日本料理店、地元銀行のATMも併設した。

外国人観光客に人気の宮城蔵王キツネ村や蔵王山などの観光スポットに近く、3月8日のプレオープン以来、外国人の利用が目立っている。近くホテル周辺にレンタカー店も開設し、インバウンド需要に応える。

最大320人が収容できる宴会場

東日本大震災時にSSで得た経験から、住民の避難場所になれるよう災害への備えを重視。軽油使用の非常用自家発電機を設置したほか、全館フリーWi-Fiを備えて緊急時にどこにいてもスマホで情報を得られるようにした。

震災で被災した前身のホテル（31室）を2012年に取り壊し、跡地に新築した。総工費20億円。佐藤社長は「蔵王国定公園の表玄関口である新幹線駅に隣接する宿泊施設として、新鮮な地元食材を使った料理などで外国人観光客をおもてなししたい。緊急時の備えも万全にした」と話している。

客室タイプの9割を占めるシングル室「スーペリアダブル」の宿泊料金は1万2960円。連絡先（電話＝0224－25－3111）。

関東

関東支局（千代田区永田町2-17-14 石油会館）03（3593）5757

山梨　吉字屋グループ450周年式典

これからも最古にして最新で

一層の発展を誓う高野社長（上）と義塩にちなみ行われた〝塩釜開き〟（下）

吉字屋グループ（甲府市、高野孫左エ門社長・昭シェル系）はこのほど、甲府市内のホテルで創業450年記念式典・祝賀会を開いた。創業永禄11年、「敵に塩をおくる」の語源となった義塩の功績により、武田信玄公から吉字屋の屋号を贈られて以来、18代にわたり甲府市を拠点に事業を続けている同社のさらなる発展を祝うため、全石連の森洋会長、昭和シェル石油の亀岡剛社長をはじめ、全国から多数の関係者が参加した。

式典で高野社長は「地域社会でお取り引きいただき450年の節目を迎えることができた。今後も吉字屋に伝わる〝最古にして最新〟〝利より信〟を大切にし、さらに堅固となるよう精進したい」とあいさつした。

主賓では亀岡社長が「明治初期より1世紀にわたり一緒に歩ませていただいている。初代の命を賭して塩を持ち帰ったDNAがいまも受け継がれている」と称えた。このほか、ジャパンソルトの大川洋社長、トヨタの村上秀一常務役員、山梨中央銀行の進藤中会長が祝辞を述べた。式典では同社の450年の歴史を振り返るとともに、今後の事業展開について紹介され、祝賀会では義塩の由来が再現されたほか、森会長をはじめ多数の来賓が塩釜開きを行った。

値引き横行、量販指向が再燃

系列量販店が攻勢　広がる軽油価格差　地場に募る不信感

関東地方の地場業者から量販SSの値引き価格への批判が高まっている。タイムセールスや週末値引き、メール会員値引きなど様々な値引きで集客するSSに、「建値制度が廃止されているのにまだ量さえ売ればなんとかなると思っている。時代錯誤の売り方」と怒りを通り越し呆れる業者も多い。

各地で安値を誘因する原因として「値引き価格」が問題視されてきた。会員価格とは異なり、一過性の集客術とみられてきた様々な値引き商法だが、最近のものは「度が過ぎる」という。広域量販SSが行うタイムセールスを周辺地場業者は「タイムセールスというが、朝10時から夕方6時まで大幅値引きするというのは時間を区切っているとは言えないだろう」と訴える。

週末値引きの最近の傾向について業者は「週末に値引きするSSの価格を週明けには周辺SSが同値にする。そのまま次週に値引きが始まり、結果的に週単位で仕切り改定を無視した安値がまん延する」と指摘、市場軟化の大きな要因とみている。

メール会員値引きが横行することにも業者は「競合店が知らない」と思ってやっているのかもしれないが、そうした情報をいち早く入手するのが広域量販SS。すぐに値引き合戦になる」と訴える。

仕切り制度が建値廃止へ向かう中、量では経営が成り立たないと感じる業者が増える中、いまだに量を追い続ける商法に対し「相変わらずのやり方。このままでは共倒れになりかねない」と危機感を強める業者は多い。

業転市場が縮小する中で、関東地方では軽油価格が正念場を迎えている。PBSSが軽油のコスト転嫁に積極的なのに対し、系列量販SSの安値が際立ち、フリート業者は「これではかつての真逆の市場」と呆れる。激戦地の軽油価格はPBと系列SSの差がほとんどない状況で、地場業者は「軽油市場の沈没が目に余る」と怒りの声を上げている。

関東各地の激戦地ではいまだに軽油価格が110円前後で推移している。地場業者は「ガソリンよりも軽油の価格競争が深刻」と明かし、採算性にほど遠い状況に危機感を隠せない。1SS事業者は「ガソリン価格はほとんど同値であっても軽油の安値についていけない。これほど差がついた状態は経験がない」と指摘する。

フリート業者も「関東は特に軽油の安値が目に付く。系列の立派なSSが安値を続ける理由が知りたい」と実態に疑念の声を上げる。

軽油市場の落ち込みに大手業者も「このままでは地場SSが軽油を本気で売ろうとしなくなる。それがSSの将来にどのような影響を及ぼすか考えるべき」とし、業界全体に軽油市場への不信感が広がることを懸念する。

栃木・ウエタケ

黒磯駅前活性化へ『パン＆スイーツフェス』

栃木石商・協の瀧澤資介副理事長（本社・那須塩原市、ウエタケ社長・JXTG系）が実行委員長を務める黒磯駅前活性化委員会は先ごろ黒磯駅で『パン＆スイーツフェス@黒磯駅前』を開いた。

駅前の再活性化を目的にしたイベントは同委員会が年4回実施しているもので毎回多くの来場者が集まる。今回は地元エリアで人気のパン＆スイーツ店に呼びかけた結果、20店以上がブース出展。午前10時のスタートから歩行者に開放された駅前通りには家族連れなどの来場者が溢れた。

さらに当日はウエタケ本社SSで那須塩原市の君島寛市長を招いた『まちトーク』を行った。瀧澤氏は「町づくりは市民一人ひとりが参加し、小さなことから一歩ずつ地道に行っていくことで実を結ぶものであり、地元企業が生き残っていくには地域活性化がとても重要で頑張りたい」などと話した。

また、まちトークで君島市長は「直に市民の方々と話す機会を得られありがたい。市民優先の政策に取り組んでおり、黒磯駅など3駅を中心にしたコンパクトシティの構築のほか、空き家対策にも力を入れていく」などと語った。

パン＆スイーツ店に大行列。（左）アルパカたちも参加で大人気。（下）市長参加で活発な〝まちトーク〟

計量機・ローリー
買い取ります！
不要になった計量機・ローリー・コンプレッサー等をぜひ当社へお売りください
基盤・表示・ノズル　他
中古部品の販売もしております！
全国どこでも
出張買取
見積無料
買取対象品目
固定式計量機・ローリー・
ノンスペース計量機・POS・
ポータブル計量機・釣銭機・
コンプレッサー・
バキュームクリーナー　他
当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営をサポートいたします。
無料お見積り・お問い合わせは
0120-016-889
◆ホームページ　http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店　http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス　検索
◆自社計量機販売　◆給油機器販売　◆計量機検定　◆計量機修理
◆中古計量機買取・販売　◆中古部品販売　◆地下タンク漏えい検査
◆移動タンク漏えい検査　◆高精度油面計　◆電気防食システム工事
◆給油所新設工事　◆給油所廃止工事　他　お気軽にご相談ください。
日本スタンドサービス株式会社
大阪本社　〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17
TEL.072-968-2211　FAX.072-968-3900
東京営業所　〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6
TEL.03-5721-4789　FAX.03-5721-4787

18年度乙4試験日程

SSスタッフ必須の資格である乙種4類危険物取扱者の2018年度試験日程が発表された（3月23日現在）。4月から前期日程（一部試験日の受験受付は終了）の試験が全国47都道府県の各会場でスタートした。後期日程も10月から各地で行われる。ガソリンなどの危険物を取り扱うSSは事故防止・安全確保が大前提となっており、危険物に関する知識や経験を有する危険物取扱者の重要性が高まっている。

願書配付、受付、試験は各道府県支部および東京都の中央試験センターで行われている。受験案内、受験願書などは、同センターの各支部および各消防本部の窓口で無料で配付されている。インターネットを通じ、受験申請の手続きを行うこともできる（https://shinsei.shoubo-shiken.or.jp/shoubou_ia/）。試験はマーク・カードを使う筆記試験で、五肢択一式。問題は35問。試験時間は2時間。試験料は3400円。危険物に関する法令、基礎的な物理学・化学、危険物の性質並びにその火災予防および消火方法など。合格基準は、試験科目ごとの成績がそれぞれ60%以上となっている。

前期日程

	電子申請 受付開始日	電子申請 受付締切日	書面申請 受付開始日	書面申請 受付締切日	試験日
北海道	4月15日	4月23日	4月18日	4月26日	5月27日
	5月7日	5月14日	5月10日	5月17日	6月17日
	6月15日	6月22日	6月18日	6月25日	7月22日
	7月15日	7月23日	7月18日	7月26日	8月26日
青森	5月4日	5月14日	5月7日	5月17日	6月16日
	5月4日	5月14日	5月7日	5月17日	6月17日
	5月4日	5月14日	5月7日	5月17日	6月23日
	7月20日	7月31日	7月23日	8月3日	9月2日
	7月20日	7月31日	7月23日	8月3日	9月8日
	7月20日	7月31日	7月23日	8月3日	9月15日
岩手	5月4日	5月11日	5月7日	5月14日	6月23日
	5月4日	5月11日	5月7日	5月14日	6月30日
	5月4日	5月11日	5月7日	5月14日	7月7日
宮城	5月7日	5月15日	5月10日	5月18日	6月23日
	5月21日	5月29日	5月24日	6月1日	7月8日
	6月11日	6月19日	6月14日	6月22日	7月29日
	7月16日	7月24日	7月19日	7月27日	9月2日
秋田	3月27日	4月10日	3月30日	4月13日	5月13日
	3月27日	4月10日	3月30日	4月13日	5月20日
	6月5日	6月18日	6月8日	6月21日	7月22日
山形	4月13日	4月23日	4月16日	4月26日	6月9日
	5月4日	5月14日	5月7日	5月17日	6月16日
	5月11日	5月21日	5月14日	5月24日	6月23日
	5月25日	6月4日	5月28日	6月7日	7月14日
福島	4月8日	4月17日	4月11日	4月20日	6月9日
	5月4日	5月14日	5月7日	5月17日	6月23日
茨城	4月9日	4月20日	4月12日	4月23日	6月9日
	5月7日	5月18日	5月10日	5月21日	6月24日
	7月17日	7月30日	7月20日	8月2日	9月29日
栃木	3月30日	4月10日	4月2日	4月13日	6月3日
群馬	5月5日	5月18日	5月8日	5月21日	6月24日
埼玉	4月3日	4月13日	4月6日	4月16日	5月13日
	試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
千葉	4月2日	4月17日	4月5日	4月20日	6月10日
	4月2日	4月17日	4月5日	4月20日	6月17日
東京	2月19日	3月2日	2月22日	3月5日	4月8日
	3月5日	3月16日	3月8日	3月19日	4月28日
	3月12日	3月23日	3月15日	3月26日	5月12日
	3月19日	3月30日	3月22日	4月2日	5月19日
	3月26日	4月6日	3月29日	4月9日	5月28日
	4月2日	4月13日	4月5日	4月16日	6月3日
	4月9日	4月20日	4月12日	4月23日	6月9日
	4月13日	4月24日	4月16日	4月27日	6月16日
	4月13日	4月24日	4月16日	4月27日	6月30日
	5月14日	5月25日	5月17日	5月28日	7月7日
	5月21日	6月1日	5月24日	6月4日	7月14日
	5月28日	6月8日	5月31日	6月11日	7月22日
	6月4日	6月15日	6月7日	6月18日	7月28日
	6月11日	6月22日	6月14日	6月25日	8月4日
	6月18日	6月29日	6月21日	7月2日	8月12日
	6月29日	7月10日	7月2日	7月13日	8月25日
	7月9日	7月20日	7月12日	7月23日	8月29日
	7月9日	7月20日	7月12日	7月23日	9月1日
	7月16日	7月27日	7月19日	7月30日	9月8日
	7月30日	8月10日	8月2日	8月13日	9月24日
神奈川	5月4日	5月13日	5月7日	5月16日	6月10日
	7月20日	8月3日	7月23日	8月6日	9月9日
新潟	4月10日	4月24日	4月13日	4月27日	6月2日
	7月17日	7月30日	7月20日	8月2日	9月2日
富山	4月15日	4月24日	4月18日	4月27日	6月10日
	4月15日	4月24日	4月18日	4月27日	6月17日
富山	4月15日	4月24日	4月18日	4月27日	6月24日
石川	4月16日	4月23日	4月19日	4月26日	6月3日
	4月16日	4月23日	4月19日	4月26日	6月16日
	4月16日	4月23日	4月19日	4月26日	6月17日
	7月30日	8月6日	8月2日	8月9日	9月30日
福井	4月17日	4月24日	4月20日	4月27日	6月17日
	4月17日	4月24日	4月20日	4月27日	6月24日
山梨	5月7日	5月14日	5月10日	5月17日	6月24日
	5月7日	5月14日	5月10日	5月17日	6月30日
長野	4月1日	4月13日	4月4日	4月16日	6月3日
	4月1日	4月13日	4月4日	4月16日	6月10日
	4月1日	4月13日	4月4日	4月16日	6月17日
	4月1日	4月13日	4月4日	4月16日	6月24日
岐阜	4月9日	4月17日	4月12日	4月20日	5月27日
	5月7日	5月15日	5月10日	5月18日	6月17日
	5月7日	5月15日	5月10日	5月18日	6月24日
静岡	4月6日	4月16日	4月9日	4月19日	6月10日
愛知	3月17日	3月26日	3月20日	3月29日	4月22日
	5月5日	5月14日	5月8日	5月17日	6月10日
	5月5日	5月14日	5月8日	5月17日	6月17日
	6月16日	6月25日	6月19日	6月28日	7月22日
三重	4月9日	4月20日	4月12日	4月23日	6月9日
	4月9日	4月20日	4月12日	4月23日	6月10日
	4月9日	4月20日	4月12日	4月23日	6月17日
滋賀	4月13日	4月20日	4月16日	4月23日	5月27日
	6月19日	6月30日	6月22日	7月3日	8月5日
京都	4月9日	4月16日	4月12日	4月19日	5月20日
	4月9日	4月16日	4月12日	4月19日	6月3日
大阪	3月10日	3月17日	3月13日	3月20日	4月22日
	5月14日	5月21日	5月17日	5月24日	6月24日
兵庫	6月頃実施予定です。試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
奈良	4月3日	4月10日	4月6日	4月13日	5月20日
	7月2日	7月9日	7月5日	7月12日	8月19日
和歌山	4月14日	4月23日	4月17日	4月26日	6月10日
	5月26日	6月4日	5月29日	6月7日	7月22日
鳥取	4月10日	4月24日	4月13日	4月27日	6月17日
	4月10日	4月24日	4月13日	4月27日	6月24日
島根	4月9日	4月23日	4月12日	4月26日	6月10日
	4月9日	4月23日	4月12日	4月26日	6月17日
岡山	4月13日	4月23日	4月16日	4月26日	6月24日
広島	5月4日	5月11日	5月7日	5月14日	6月17日
	5月11日	5月18日	5月14日	5月21日	7月1日
	5月11日	5月18日	5月14日	5月21日	7月8日
山口	4月3日	4月16日	4月6日	4月19日	6月16日
	4月3日	4月16日	4月6日	4月19日	6月17日
徳島	7月頃実施予定です。試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
香川	試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
愛媛	4月7日	4月17日	4月10日	4月20日	6月24日
高知	5月4日	5月14日	5月7日	5月17日	6月17日
	5月4日	5月14日	5月7日	5月17日	6月24日
福岡	4月10日	4月23日	4月13日	4月26日	6月24日
	4月10日	4月23日	4月13日	4月26日	6月30日
佐賀	3月30日	4月10日	4月2日	4月13日	5月27日
長崎	4月6日	4月17日	4月9日	4月20日	6月17日
熊本	4月9日	4月16日	4月12日	4月19日	6月10日
大分	4月10日	4月23日	4月13日	4月26日	6月24日
宮崎	4月7日	4月17日	4月10日	4月20日	6月17日
鹿児島	4月3日	4月16日	4月6日	4月19日	6月10日
沖縄	試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				

後期日程

	電子申請 受付開始日	電子申請 受付締切日	書面申請 受付開始日	書面申請 受付締切日	試験日
北海道	9月4日	9月11日	9月7日	9月14日	10月14日
	9月24日	10月1日	9月27日	10月4日	11月4日
	11月2日	11月9日	11月5日	11月12日	12月9日
	11月30日	12月7日	12月3日	12月10日	1月20日
	1月29日	2月5日	2月1日	2月8日	3月10日
青森	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	11月3日
	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	11月4日
	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	11月10日
	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	11月11日
	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	11月17日
	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	11月18日
	12月7日	12月18日	12月10日	12月21日	1月27日
	12月7日	12月18日	12月10日	12月21日	2月3日
	12月7日	12月18日	12月10日	12月21日	2月16日
岩手	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	10月6日
	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	10月13日
	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	10月20日
	11月26日	12月3日	11月29日	12月6日	1月19日
	11月26日	12月3日	11月29日	12月6日	1月26日
	11月26日	12月3日	11月29日	12月6日	2月2日
	2月15日	2月22日	2月18日	2月25日	3月23日
宮城	10月8日	10月16日	10月11日	10月19日	11月25日
	10月29日	11月6日	11月1日	11月9日	12月16日
	11月5日	11月13日	11月8日	11月16日	12月23日
	1月21日	1月29日	1月24日	2月1日	3月10日
秋田	8月28日	9月10日	8月31日	9月13日	10月14日
	10月9日	10月22日	10月12日	10月25日	11月25日
	12月4日	12月17日	12月7日	12月20日	1月27日
	12月11日	12月25日	12月14日	12月28日	2月3日
山形	8月17日	8月27日	8月20日	8月30日	10月6日
	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	10月13日
	9月7日	9月17日	9月10日	9月20日	10月27日
	9月22日	10月1日	9月25日	10月4日	11月10日
	10月19日	10月29日	10月22日	11月1日	12月15日
	11月23日	12月3日	11月26日	12月6日	1月26日
福島	8月19日	8月28日	8月22日	8月31日	10月13日
	9月2日	9月11日	9月5日	9月14日	10月27日
	9月9日	9月18日	9月12日	9月21日	11月10日
	12月4日	12月17日	12月7日	12月20日	2月9日
	1月1日	1月15日	1月4日	1月18日	2月23日
茨城	8月20日	8月31日	8月23日	9月3日	10月14日
	11月26日	12月7日	11月29日	12月10日	2月17日
	1月8日	1月21日	1月11日	1月24日	3月2日
栃木	9月7日	9月18日	9月10日	9月21日	11月11日
	1月4日	1月15日	1月7日	1月18日	3月3日
群馬	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	11月18日
	1月8日	1月22日	1月11日	1月25日	2月17日
埼玉	試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
千葉	9月4日	10月6日	9月7日	10月9日	11月18日
	9月4日	10月6日	9月7日	10月9日	11月25日
	9月4日	10月6日	9月7日	10月9日	12月2日
	1月12日	2月2日	1月15日	2月5日	3月17日
東京	8月13日	8月24日	8月16日	8月27日	10月6日
	8月20日	8月31日	8月23日	9月3日	10月14日
	8月31日	9月11日	9月3日	9月14日	10月27日
	9月7日	9月18日	9月10日	9月21日	11月4日
	9月17日	9月28日	9月20日	10月1日	11月10日
	9月17日	10月2日	9月20日	10月5日	11月15日
	10月1日	10月12日	10月4日	10月15日	11月23日
	10月8日	10月19日	10月11日	10月22日	12月2日
	10月15日	10月26日	10月18日	10月29日	12月11日
	10月22日	11月2日	10月25日	11月5日	12月15日
	10月29日	11月9日	11月1日	11月12日	12月23日
	11月5日	11月19日	11月8日	11月22日	1月6日
	11月5日	11月19日	11月8日	11月22日	1月12日
	11月26日	12月7日	11月29日	12月10日	1月26日
	12月3日	12月14日	12月6日	12月17日	2月2日
	12月3日	12月14日	12月6日	12月17日	2月11日
	12月18日	1月4日	12月21日	1月7日	2月23日
	1月4日	1月15日	1月7日	1月18日	3月3日
	1月14日	1月25日	1月17日	1月28日	3月9日
	1月21日	2月1日	1月24日	2月4日	3月21日
	1月25日	2月5日	1月28日	2月8日	3月23日
神奈川	10月12日	10月26日	10月15日	10月29日	12月2日
	1月21日	2月4日	1月24日	2月7日	3月17日
新潟	10月9日	10月23日	10月12日	10月26日	11月23日
	1月8日	1月22日	1月11日	1月25日	3月2日
富山	8月26日	9月4日	8月29日	9月7日	10月14日
	8月26日	9月4日	8月29日	9月7日	10月21日
	8月26日	9月4日	8月29日	9月7日	10月27日
	12月4日	12月14日	12月7日	12月17日	2月3日
	12月4日	12月14日	12月7日	12月17日	2月10日
石川	7月30日	8月6日	8月2日	8月9日	10月7日
	7月30日	8月6日	8月2日	8月9日	10月14日
	7月30日	8月6日	8月2日	8月9日	10月21日
	12月3日	12月10日	12月6日	12月13日	1月27日
	12月3日	12月10日	12月6日	12月13日	2月3日
石川	12月3日	12月10日	12月6日	12月13日	2月10日
	12月3日	12月10日	12月6日	12月13日	2月17日
福井	9月4日	9月11日	9月7日	9月14日	10月21日
	9月4日	9月11日	9月7日	9月14日	10月28日
	12月10日	12月17日	12月13日	12月20日	2月17日
山梨	8月31日	9月7日	9月3日	9月10日	10月21日
	8月31日	9月7日	9月3日	9月10日	10月27日
	1月4日	1月12日	1月7日	1月15日	2月17日
長野	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日	10月14日
	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日	10月21日
	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日	10月28日
	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日	11月4日
	11月30日	12月10日	12月3日	12月13日	2月17日
	11月30日	12月10日	12月3日	12月13日	2月24日
岐阜	9月30日	10月9日	10月3日	10月12日	11月11日
	9月30日	10月9日	10月3日	10月12日	11月18日
	1月7日	1月15日	1月10日	1月18日	2月17日
	1月7日	1月15日	1月10日	1月18日	2月24日
静岡	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	11月4日
	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	11月11日
	1月4日	1月12日	1月7日	1月15日	2月17日
愛知	9月1日	9月10日	9月4日	9月13日	10月7日
	9月1日	9月10日	9月4日	9月13日	10月21日
	10月6日	10月15日	10月9日	10月18日	11月25日
	翌年1月頃実施予定です。試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
三重	11月頃実施予定です。試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
滋賀	8月21日	9月1日	8月24日	9月4日	10月7日
	11月6日	11月17日	11月9日	11月20日	12月23日
	1月15日	1月27日	1月18日	1月30日	3月3日
京都	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	10月28日
	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	11月4日
	12月18日	1月4日	12月21日	1月7日	2月3日
	12月18日	1月4日	12月21日	1月7日	2月10日
大阪	8月27日	9月3日	8月30日	9月6日	10月7日
	10月22日	10月29日	10月25日	11月1日	12月2日
	1月7日	1月14日	1月10日	1月17日	2月17日
	3月8日	3月15日	3月11日	3月18日	4月21日
兵庫	10月、翌年2月頃実施予定です。試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
奈良	10月2日	10月12日	10月5日	10月15日	11月18日
	1月4日	1月12日	1月7日	1月15日	2月17日
和歌山	8月25日	9月3日	8月28日	9月6日	10月21日
	12月8日	12月17日	12月11日	12月20日	2月10日
鳥取	8月17日	8月31日	8月20日	9月3日	10月14日
	8月17日	8月31日	8月20日	9月3日	10月20日
	12月4日	12月18日	12月7日	12月21日	2月10日
	1月18日	2月1日	1月21日	2月4日	3月17日
島根	8月24日	9月7日	8月27日	9月10日	11月4日
	8月24日	9月7日	8月27日	9月10日	11月11日
	12月3日	12月17日	12月6日	12月20日	2月3日
	12月3日	12月17日	12月6日	12月20日	2月10日
岡山	8月20日	8月31日	8月23日	9月3日	10月21日
	12月14日	12月25日	12月17日	12月28日	2月17日
広島	9月15日	9月25日	9月18日	9月28日	11月11日
	10月2日	10月9日	10月5日	10月12日	11月25日
	10月16日	10月23日	10月19日	10月26日	12月2日
	10月16日	10月23日	10月19日	10月26日	12月9日
	1月15日	1月22日	1月18日	1月25日	3月10日
山口	8月31日	9月11日	9月3日	9月14日	11月17日
	8月31日	9月11日	9月3日	9月14日	11月18日
徳島	11月頃実施予定です。試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
	12月17日	1月7日	12月20日	1月10日	2月17日
香川	試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				
愛媛	8月28日	9月7日	8月31日	9月10日	10月28日
	12月7日	12月17日	12月10日	12月20日	2月9日
高知	9月7日	9月18日	9月10日	9月21日	10月28日
	9月7日	9月18日	9月10日	9月21日	11月4日
	11月26日	12月10日	11月29日	12月13日	2月3日
福岡	8月25日	9月7日	8月28日	9月10日	10月28日
	8月25日	9月7日	8月28日	9月10日	11月4日
	12月16日	1月7日	12月19日	1月10日	2月24日
	12月16日	1月7日	12月19日	1月10日	3月3日
佐賀	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	11月25日
	11月25日	12月4日	11月28日	12月7日	1月27日
長崎	9月8日	9月19日	9月11日	9月22日	11月18日
	9月8日	9月19日	9月11日	9月22日	11月23日
	1月4日	1月15日	1月7日	1月18日	3月3日
熊本	9月3日	9月10日	9月6日	9月13日	11月11日
	1月1日	1月8日	1月4日	1月11日	2月10日
大分	9月17日	10月1日	9月20日	10月4日	11月18日
宮崎	9月3日	9月18日	9月6日	9月21日	11月18日
鹿児島	9月10日	9月22日	9月13日	9月25日	11月4日
	12月1日	12月10日	12月4日	12月13日	2月3日
沖縄	試験日は、日程が決まり次第ホームページにてお知らせします。				

月間ぜんせき 3月

※＜ ＞は掲載日

組織

◆長野・新規2社・15SSの加入を承認

＜2日＞長野石商・協（渡邉一正理事長）はこのほど開催した理事会で、新規組合員2社・15SSの加入を承認した。総務委員会を中心に新規加入の促進を強化してきた成果が表れた格好となった。

◆SS経営革新部会・ガイドブック作成へ

＜9日＞全石連SS経営革新部会（出光泰典部会長）は6日開いた会合で、『SS経営革新ガイドブック2018』を作成することを決めた。ガイドブックは2年間にわたる部会活動の成果で、1SS事業者や青年部会員の指針として新規事業の可能性などを紹介する。

◆森全石連会長の2選内定

＜12日＞全石連（全石商・全石協）と全国石油協会は7日、石油会館で3団体役員選考準備会（座長・喜多村利秀全石連総務部会長）を開き、来年度の任期満了に伴う役員改選で、全石連の次期会長に森洋氏（本社・横須賀市、富士オイル社長・コスモ系）を満場一致で推薦することを決めた。これによって森会長の再選が内定した。

◆コストコ廉売問題で公取委に直訴

＜14日＞コストコSSの廉売問題について、全石連と愛知、岐阜、富山の3石商は7日、公正取引委員会を訪れ、直接説明した。今回訪問したのは愛知・宇佐美三郎（全石連副会長、中部支部長）、岐阜・澤田栄、富山・島竜彦の3理事長と全石連の加藤文彦副会長・専務理事などで、廉売状況や地元SSへの深刻な影響を直訴した。

◆神奈川・『災害時対応マニュアル』作成

＜19日＞神奈川石商・協（木所章理事長）は13日開催の理事会で、災害に備えてSS店頭で活用できる実践型『災害時対応マニュアル』を組合独自に作成したことを明らかにした。47都道府県組合が東日本大震災や熊本地震などを踏まえ、こうしたマニュアルを作ったのは全国初とみられ、神奈川発の試みの広がりが期待される。

◆東京・発券店カード、2円売へ改善要望

＜28日＞東京石商（矢島幹也理事長）は20日、「発券店値付けカード問題早期解決について」と題する関係元売社長宛の要望書をJXTGエネルギー東京支店の西川慎二支店長および昭和シェル石油首都圏支店の渡邊信彦執行役員支店長に手渡し、代行手数料の大幅な引き上げなどを求めた。

◆福井・今冬教訓に関係機関で豪雪対策を

＜28日＞福井石商・協（井田浩志理事長）の理事会が23日福井市内で開かれ、豪雪災害を教訓に2度と混乱を起こさないよう、豪雪対策を関係機関に強く呼びかけていくことを確認。会合では、ローリーでの入荷がなく休業を余儀なくされたSSで客離れの後遺症が続いていることなど、いまなお続く雪害の深刻な影響などが報告された。

市場

◆コストコ・滋賀県栗東市へ進出計画

＜7日＞全国各地で猛威を振るうコストコのSSが、滋賀県栗東市へ進出する計画が浮上している。地元自治体の影響調査で明らかとなったものだが、地元業者にはすでに警戒感が高まっている。建設予定地周辺には大手量販SSもあり、競争激化の懸念も高まっている。

◆群馬県下仁田町 SS過疎地対策定める

＜30日＞群馬県下仁田町は28日、町役場で原秀男町長が記者会見を開き、SS過疎地対策に向けた自主行動計画を発表した。町内の石油製品の安定供給を実質的に担っているSSは2ヵ所しかなく、当該地区を主な商圏として唯一残る大協エネルギー・ニュー本宿SSの機能強化を図る形で、新たに防災拠点としての機能を付与する。

政策

◆国交省・大雪による“支障”抑制

＜5日＞国土交通省はこのほど、大雪による車両の立ち往生や通行止めの影響を最小限に抑える方策を議論する「冬期道路交通確保対策検討委員会」の初会合を開いた。北陸で発生した車の立ち往生によって交通がマヒしたことを受け、大雪への対応などを話し合った。4月に提言の中間とりまとめを行う予定。

◆エネ庁・住民拠点1346SS設置

＜26日＞資源エネルギー庁石油流通課はこのほど、2017年度分の『住民拠点SS』の整備・指定状況を取りまとめた。今月中旬までに新たに719ヵ所の配備・指定が完了。合計1346ヵ所となり、47都道府県すべてに設置された。全1718市町村中では747市町村で完了し、本格的な整備初年度で全市町村数の4割強をカバーした。

カーライフ

◆トヨタ・新型CVTなど公開

＜12日＞トヨタはこのほど、パワートレーン技術説明会を開催し、燃費や動力性能を向上させた新型の無段変速機（CVT）、2ℓエンジン、2ℓエンジン用ハイブリッドシステム、4WDシステムなどを公開、今春以降に搭載車種をグローバルで拡大していくと発表した。

◆2月新車・乗用車5ヵ月連続減販

＜14日＞日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合が集計した2月の新車・乗用車販売台数は、前年比で登録車が5.1%減の26.0万台、うち外国メーカー車は2.3%減の2.3万台、軽4輪が1.8%増の14.2万台、合計2.8%減の40.2万台（5ヵ月連続減）だった。

環境

◆環境省・エネ庁 SS認定制度を創設

＜5日＞環境省と資源エネルギー庁は2日、「大気環境配慮型SS認定制度」を創設したと発表した。ガソリン給油時に発生する揮発性有機化合物（VOC）を回収するベーパーリカバリー装置付き計量機（ステージ2対応機）を設置したSSを回収率に応じ4段階のランクで認定する。

◆水素ST設置へ新会社設立

＜9日＞JXTGエネルギー、出光興産、岩谷産業、東京ガス、東邦ガス、日本エア・リキード、トヨタ、日産、ホンダ、豊田通商、日本政策投資銀行の11社は、燃料電池車向け水素ステーションの本格整備を目的とする新会社「日本水素ステーションネットワーク合同会社」（JHyM＝ジェイハイム）を設立した。

元売

◆JXTG・五輪選手村跡地のエネ事業者に選定

＜9日＞2020年東京五輪後の選手村跡地（中央区晴海）でエネルギー事業を手がける民間企業として、JXTGエネルギーはこのほど、東京ガスを代表する全5社で東京都と基本協定を締結し、事業者に選定されたと発表した。JXTGエネは、車両や街区向けの水素供給拠点となる水素ステーションの整備・運営を行う。

◆出光・昭シ 法人カード相互乗入開始へ

＜16日＞出光興産と昭和シェル石油はこのほど、ブライターエナジーアライアンス（業務提携）における協働事業として、法人向けカードの相互乗り入れを4月1日から開始すると発表した。また、4月1日以降に新規・更新発券する場合は新デザインで発行する。

◆コスモ・エネ高度化法の変更を受理

＜23日＞コスモ石油は、エネルギー供給構造高度化法の1次告示と2次告示への対応を変更することとし、「原油等の有効利用目的達成計画書の変更」の届を経済産業省へ提出して受理された。